

支部だより

令和3年1月
第86号

「みんなで突き破るぞ」

南宗寺門徒会館・納骨堂
見学会のご案内

支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族や親しい方々と暖かい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ感染拡大の第三波が日々全国に波及し深刻さが増すなか、社会経済の先を読むと言われる株価はバブル期以来の高値を付けるなど、あとしの辛抱との予感も感じられます。それでも気を緩めず三密を避け、用心怠りなくしなければなりません。

さて、昨年の支部活動は春の通常総会は書面議決方式で実施できたものの、夏の納涼懇親会は中止、例年この号でご案内する新年会・ボーリング大会も中止です。それでも2級製図講習会、神戸東灘見学会、青年部会活動は企画や実施方法を工夫して行うことができました。この後、2月13日(土)には南宗寺門徒会館・納骨堂見学会も実施します。

ほかに懸案だった新規ホームページ

(<http://www.kentikushikai-kakogawa.com>)も開設できました。また、多くの新入会員(速水香織さん、久保田美咲さん、貴傳名良泰さん、高松冬果さん、植田泰介さん、井上しおりさん)をお迎えすることもできました。

なにより、本支部所属の(公社)兵庫県建築士会会長 宮宅勇二氏が、昨年秋に黄綬褒章を叙勲されました。大変な一年でしたが、多くの嬉しいこともありました。

今年も厳しい状況は続きますが、これからは「コロナの影響で」ということばを使わないことにします。皆様のご支援とご協力をいただきながら例年以上の活動を目指します。

令和3年の干支は「丑」、一步一步、上を向いて進み、さらなる発展の年にしていきたいと思えます。

また、今年の近畿建築祭(兵庫大会)は姫路市で開催されます。具体的な企画はこれからですが、コロナ禍を克服した記念大会にするため知恵と力を結集させましょう。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

今、思いつく言葉をひとつ、「雲外蒼天」、みんなで突き破るぞ！

(支部長 小西 敏文)

昨年1月の斑鳩寺庫裡見学会に引き続き、10月に竣工した南宗寺門徒会館・納骨堂の見学会を企画しました。この施設は、加古川市西神吉町にある浄土真宗本願寺派南宗寺さんが、同地区内に新築された建物です。

斑鳩寺庫裡が伝統建築であるのに対して、木造寺院建築において意匠と構造共に随所に新たな試みが見られる建物です。高御位山の裾野に立ち、深い軒の出をもちながら、外部空間と内部空間が一体となるようにデザインされ、伝統のなかに斬新さを取り入れたところに見ごたえがあります。

この機会に、設計監理業務におけるご苦労話もお聞きできると思います。

設計監理 建築：古田建築設計事務所

構造：木構造建築研究所 田原

興味のある方、是非ご参加ください。お待ちしております。

(研修委員会 委員長 増田 正幸)

記

1. 開催日 令和3年2月13日(土曜日)
14時から
2. 集合場所 加古川市西神吉町1610
南宗寺門徒会館・納骨堂(敷地内に駐車場)
西神吉小学校西側道路を北に進み(加古川運動公園陸上競技場方面)最初の信号を直進して100m過ぎた左に建つ
3. 参加費 500円
4. 申込締切 令和3年2月10日
5. 申込及び問合せ先
連絡・参加申込書に記載しております。



上空からの外観

当日参加の場合は、2月13日（土）10時までに、小西支部長までお問い合わせください。



納骨堂夜景

恒例「新年会&新春ボーリング大会」 開催 見送り のお知らせ

令和2年11月10日第4回理事会において、開催について協議致しましたが、感染拡大が再び進んでおり、開催を見送ることとすると決定いたしました。

(厚生委員会)

令和2年度（公社）兵庫県建築士会 加古川支部 神戸東灘 見学会に参加して

建築士会の史跡散策に、初めて参加させていただきました。あまり、こういうイベントには参加してこなかったのですが、少し戸惑いもありましたが、楽しい時間と建築に触れ合う小旅行ができたものと思います。

加古川駅より出発し、阪急御影駅で下車。そこから、建造物文化財の香雪美術館へ。数々の展示物に、広大な庭千坪を散策致しました。

建築群も、洋館は来賓を意識したような、大正モダニズム建築と和風建築の融合した巨大なものでした。

設計者は藤井厚二氏。時代を先取りしつつも日本人としてのアイデンティティを強く意識した設計者のような感じがしました。

中に入れなかった事が、少し残念でしたが、将来、開放されるなら、もう一度訪れたい場所でもあります。

それから昼食。人見知りの私ですが、このころには皆様と打ち解けて話せるようになり、昼から御影公会堂に、皆で向かいました、

この公会堂の大改修を設計監理された神戸市職員の方の説明をお聞きし、この改修工事がいかに大変なものであったかが、よく解りました。

昭和初期の建築の美しさを守りつつ、現代のユニバーサルデザインにも対応しなくてはならないのは、本当に大変だったと思います。

そのあと、甲南漬物資料館へ。資料館の方のユ

ニークな説明が、とても印象的でありました。こちらの建築も竣工は1930年と昭和初期の建築、大正時代のアールデコ調の建築、先程の御影公会堂と同じ設計者、清水栄二氏という話でした。

曲線の美に感銘をうけつつ、何かここも日本人としてのアイデンティティを感じる様な和風の匂いも感じました。特に感銘を受けたのは屋上に通ずる通路は幻想的な感じがして、印象深いスポットでもありました。

その甲南漬けのお土産を買い、最後の訪問先酒蔵「福寿」さんに。ここは自由参加ということでした。試飲をさせてもらい今日一日の色々な事を皆様と語らいながら帰宅の途に。

とても充実した一日が過ごせたことで、こういう一日もいいものだなと思っています。また機会があれば是非参加していきたいと思っています。

最後に、支部長を初め、この企画を準備された方々に、感謝したいと思います。

(竹内 重宏)



香雪美術館休憩処



御影公会堂

青年部情報 (青年部会)

1.公益事業 5-2 2級製図講習会 3名申込み
2名受講。

9/13（製図試験）⇒12/3（1名の合格確認）

2.活動状況

・東播ブロック・・・中止

・加古川楽市・・・中止

・見学会等の企画・・・中止

・近畿建築祭：大阪 10/17

(10:00~17:00)

・FORZA 若い夢フェスティバル・・・中止

・現在、三役会以外開催見送りをしています。

黄綬褒章をいただいて



昨年の秋に思いがけず、天皇陛下より黄綬褒章をいただきました。正に光栄の至りです。

大きな喜びと共に、これまで関係者の皆様をはじめ、多くの方々に支えられてきた事に深く感謝申し上げたい、と存じます。

何故受賞されたか、と言えば、建築士会における活動がその大きな理由のひとつであるのは間違いないことだと思います。

思い起こせば、20 代後半に建築士会に入会し、早や 40 年近くが経ちました。

思い出に残る数多くの出来事がありますが、最も記憶に残る事をひとつ御紹介したいと思います。

それは、当支部の青年部長をしていた時に、支部創立 30 周年を迎えました。創立 30 周年記念事業の一つとして、「少年少女絵画展」を青年部で開催しました。

これは「未来の都市、建物、我が家」という題名で、小学生を対象とした絵画展を開く、というものでした。夏休み前に二市二町の 47 小学校に青年部員が手分けをして、応募のお願いに行きました。そして最終的に 229 点の力作が集まり、秋に松風ギャラリーに全ての作品を展示して、士会員、一般の方々に鑑賞していただきました。

そして、金賞、銀賞等を士会員の投票によって決定し、式典の際に児童を招いて表彰状と記念品を渡しました。

また、ちょうどその頃、加古川市役所新庁舎の建築工事期間で、地域振興課からあるお願いがありました。それは仮囲いに優秀作品 2 名の拡大図を描いてもらえないだろうか、ということでした。金賞、銀賞、の 2 人に頼んでみると、快く引き受けてくれ、工事期間中鑑賞出来たのです。そんなおまけの様な事もありました。

その絵は現在も縮小され、陶板画として、庁舎南側の塀の一角に残されています。

過去を振り返ってみると、他にもいろいろ思い出されますが、紙面の都合もあるでしょうからここ迄とします。

今後も褒章をいただいたことに対しての御礼、という意味でも、建築士会に対して、微力ながら力を尽くしたい、と存じます。

共に歩んできた会員の皆様、これからもよろしくお願い申し上げます。(宮宅 勇二)

理事会報告

理事会ってどんなことを話し合っているのか？について少しご紹介いたします。

■協議事項

(1)各委員会の活動状況

①広報委員会

- ・支部だより 85 号・86 号について

②研修委員会

- ・見学研修会（神戸東灘見学会）について
- ・市内見学会の開催 ※古田さん設計・監理（南宋寺 門徒会館、納骨堂）見学会について

③厚生委員会

- ・新年会・ボウリング大会 の開催について
- ・新型コロナウイルスの感染予防を踏まえ、対応を協議

④青年部会

- ・2 級製図講習会について
- ・活動状況及び予定について

(2)その他

①支部ホームページの運用開始について

アカウント：kentikushikai-kakogawa.com

本部理事会で報告後、本部 HP へのリンク依頼

②秋の叙勲で、宮宅勇二氏が黄綬褒章を受章。

支部主催の叙勲祝賀会は、感染拡大の懸念解消後、行うこととする。

2. 本部理事会報告

(1)本部理事会で協議されたことを支部長より報告

(2)県本部各委員会

各委員会に出向されている方より、報告事項がある場合に報告して頂いています。

■会員動静（会員数・入退会等）

■次回 理事会開催日

こんなこと・あんなことを話し合っています。最後に次回開催日を確認して閉会です。

編集後記

毎回毎回、慌ただしく支部だよりをまとめているですが、コロナ禍で事業の中止や縮小で、支部だよりに掲載する記事を依頼しにくくなりました。

そういう中でも、当会支部長の任にも就かれた（公社）兵庫県建築士会 会長 宮宅勇二氏が黄綬褒章を叙勲されるという記事を書けることができ、大変嬉しく思っています。

『ええはなしやん』では、青年部長時代に、創立 30 周年記念事業の一つとして、キラリと光る事業をされ、その当時子どもたちにとっても、心に残る出来事だったと想います。また、私たちにとっても、示唆に富むエピソードを披露して頂けたのではないのでしょうか。

『神戸東灘 見学会に参加して』では、初めてこういうイベントに参加したと言われる竹内さんに記事を書いていただきました。上手くまとめて頂

き、感謝です。

『南宗寺門徒会館・納骨堂見学会のご案内』ですが、どんな建物か写真でよくわかり、作成している私はカラーで見ているので、より鮮明に素晴らしいさが伝わってきます。研修委員会の皆様には毎回素晴らしい企画をして頂いているなぁと感じています。

今回、紙面に余裕があり、『理事会報告』で、理事会ってどんなことを話し合っているのか？についてレジュメに沿った形で、少しご紹介しました。理事の方だけでなく、全ての会員の方に、どんなことを話しているのを知って頂き、建築士会をより身近に感じて頂けたらという思いからでした。

支部長の新年のご挨拶の最後に、「雲外蒼天」、みんなで突き破るぞ！というお言葉を頂きました。

「雲外蒼天」とは、文字通り、〈雲を突き抜け

たその先には、青空が広がっている〉ということですが、転じて、〈努力して苦しみを乗り越えれば、素晴らしい世界が待っている〉といったことを指して使われる』とあります。

このコロナ禍を乗り越えれば、素晴らしい世界が待っているのです。みんなで突き破っていきましょう！

最期になりましたが、会員の皆様からの“ええはなしやん”を載せていきたいと思いますので、情報をぜひお寄せください。

また、支部HPも見えて頂いて、ご意見ご要望もお寄せいただければ、大変嬉しいです。こちらもし宜しくお願い致します。

(広報委員会委員長 高橋 賢吉)

連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

事業名	参加者氏名	(緊急連絡先)	非会員 表記欄
南宗寺門徒会館・ 納骨堂 見学会	氏名	電話	
	勤務先等		
	氏名	電話	
	勤務先等		

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部

事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350

支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626

E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

